

後期基本計画(案) パブリックコメントの回答について

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
1	24.25	第2編 基本構想 第2章 目指すまちの姿	本計画のどの項目がと云うよりも、内容は勿論、市民への周知方法など再考願いたく私見を述べさせていただきます。 まず、成長戦略、5つの柱や基本構想に定める「6つの目指すまちの姿」など、宇陀市のユートピアが今にも出現しそうな文言が連なり、具体性に欠ける点が市民を“糠喜び”させてはしまい心配になります。つまり、ヒト、モノ、カネの3点が完備されて初めて実現性を感じられるものと思いますが…。	1. 計画の具体性に欠ける点について 「6つの目指すまちの姿」においては、具体的な施策がイメージしづらいとのこと意見を頂きました。本計画は、宇陀市が目指すべき方向性を明確に市民の皆様にお示しするための方針を定めたものです。実際の施策については、計画の趣旨に基づいて具体的に展開していくことで実現を目指します。引き続き、計画に基づく各事業を着実に実施することで、市民の皆様により具体性を感じていただけるよう努めてまいります。
	26	第3章 人口ビジョン	例えば、この計画書のイの1番にも人口減少と少子高齢化問題が当然のように取り上げられていますが、この問題は何年も前から、当市のみならず全国的に取り上げられて久しくなったものの、地に足のついた抜本的打開策は未だ見い出せておりません。宇陀市においてもいろいろ方策を巡らせてこられたと理解していますが、対して成果はあったのか?将来に繋がる期待感を持てるのか?些か疑問視されます。 私は、予めからこの問題、はもとより1つや2つの施策で解消するとは考えておりません。	2. 人口減少・少子高齢化問題への懸念について 人口減少と少子高齢化問題は、宇陀市だけでなく全国的な課題として取り上げられていることを踏まえ、引き続き本計画の中で重点テーマとして取り組んでまいります。①住宅確保、②雇用創出、③子育て・教育環境の充実、④福祉向上についても多角的に検討し、具体的施策を通じて、課題解決に向けて着実に前進できるよう努力してまいります。具体的な成果をお示しできるよう、積極的に取り組んでまいります。
	34~39	第3編 基本計画 第1章 まちづくりの成長戦略 ③後期基本計画における成長戦略	① 永住可能な住宅の確保 ② 安定した雇用の創出 ③ 安心感のある子育てと教育 ④ 老後不安のない福祉 これらがセットになって、1歩ずつ前に進めることが出来ると思います。 勿論、前述の「ヒト、モノ、カネ」が裏付けされるのが前提になります。 また、少子高齢化問題と並んで労働力不足(学校の先生、病院の職員、民間企業の社員はたまた自治会役員のなり手など)も大きな問題ではありますが、これとて上記①~④が実現した暁には徐々に解消に向かうのではないのでしょうか。 最後に、本計画(案)の閲覧方法の案内について申し上げます。衆議院選挙とダブったのは不運でしたが、市役所や地域事務所だけでなく、広く市民に浸透させるべく、選挙の期日前投票所やスーパーなどの人が多く集まる場所に、1カ月程度長期に掲示して欲しかった。クリアファイルに挟んだだけでは読みづらく見る気がしません。	3. 労働力不足の問題について 労働力不足についての課題も、上記の人口減少・少子高齢化への取り組みとの連携で進めてまいります。ご指摘いただいたように、①住宅確保、②雇用創出、③子育て・教育環境の充実、④福祉向上などの具体的施策が、結果的に労働力不足の改善にも寄与すると考えております。今後も包括的な視点で施策を進め、持続可能な環境づくりを目指してまいります。 4. 計画の閲覧方法・周知方法について パブリックコメントの案内や計画書の閲覧場所についての貴重なご指摘、誠にありがとうございます。本計画の周知において、市民の皆様には十分な機会を提供できたか検証を行い、今後の周知活動に活かしてまいります。本計画終了までの過程で、より多くの市民に興味を持っていただき、広く理解いただけるよう、周知方法についても検討を進めてまいります。 本計画は宇陀市の未来を切り拓く重要な指針であり、市民の皆様とともに着実に実施してまいります。いただいたご意見は、計画の運用や今後の検討課題としてしっかりと活かしてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
2			<p>1. パブリックコメントの取り方について</p> <p>募集期間が短すぎませんか？原則として「案の公示から30日以上」というのが一般的のはずですが・・・？宇陀市の行政職員は二週間で十分と教わっているのでしょうか？</p>	<p>1. 募集期間について</p> <p>この度は募集期間について貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。宇陀市では、パブリックコメントを実施する際の期間については、2週間から1か月が一般的と考えております。しかしながら、今回の実施期間が2週間程度であった点について、ご指摘の通り1か月以上の期間を確保できればより多くの意見を収集することが可能だったと認識しております。</p> <p>一方で、今回の募集については、幅広く市民の皆様にご周知できるよう、以下の手段を通じて可能な限り周知を図りました。具体的には、広報うだへの掲載をはじめ、宇陀市自主放送における静止画、市ホームページ、安全・安心メール、市公式X(旧 Twitter)およびLINEなど、多様な媒体を活用して情報を広く発信しております。そのため、募集期間を2週間程度とした場合でも、十分に市民の皆様目に触れる機会が確保できると考えております。</p> <p>今後は十分な期間を確保するよう努めることで、より多くの市民の皆様から幅広いご意見をいただける体制を整え、宇陀市の施策を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
	70, 71	第3編 後期基本計画 第4章 個別施策 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用	<p>2. 全体的記述について</p> <p>菟田野に住んでいる者として、非常に寂しい思いをしました。菟田野には、奈良県に3つしかない国宝の神社の一つ「宇太の水分神社」、宇陀市唯一の国指定史跡古墳「見田・大澤古墳」、国の天然記念物「ハツ房杉」があるのですよ。全く触れられていません。同じ国指定文化財の「カザグルマ」「スズラン」「オオサンショウウオ」が記述されているのに、避けられたように触れられていません。</p>	<p>2. 菟田野地域の記述について</p> <p>菟田野地域の文化的・歴史的資産、「宇太水分神社」「見田・大澤古墳」「ハツ房杉」などの、資産が持つ価値は十分認識しており、今後の計画実施において地域の自然や文化資産の魅力を継続的に発信するとともに、地域資源を活用した観光振興や地域の活性化に努めてまいります。</p> <p>また、「賢者の石と朱の道」「神武東征コース」など多くの観光資源がある点についても、効果的な観光プロモーションにより菟田野の魅力を発信してまいります。</p>
	79, 80	3-5 観光戦略の推進	<p>私たちの街はそんなに魅力がないのかと、ひねくれてしまいます。私たちは今、宇太水分神社～旧大和水銀鉱山跡地～見田・大澤古墳～旧入谷鉱山跡を巡る「賢者の石と朱の道」コースを開発しました。また、昔から、「神武東征コース」もあります。「ひらら」や「水分神社」をメインスポットとして等々、いくらでも記述できると思うのですが？</p>	
	84, 85	4-2 子どもたちの教育環境の充実	<p>3. 評価する点</p> <p>アントレナーシップ教育を「地域課題の解決を題材としたアントレナーシップ・・・」と具体的に示した点です。アントレナーシップ教育を「起業家の育成を目指す」と短絡的に捉える傾向がありますが、最終的なゴールは「地域課題の解決」ということをしっかり押さえなければ、他者を傷つけ「金儲け」のためのものに成り下がってしまいます。</p>	<p>3. アントレナーシップ教育について</p> <p>計画に掲げるアントレプレナーシップ教育へのご評価、ありがとうございます。</p> <p>本市の取組は、単なる起業家育成や経済的成功を目的とするのではなく、地域の自然・歴史・文化・産業と向き合いながら、課題を自ら発見し、対話と共創により解決策を生み出す力を育むことを目的としています。</p> <p>子どもたちが地域課題を“自分ごと”として捉え、主体的に関わる力を育む教育を今後も推進してまいります。</p> <p>いただいたパブリックコメントの内容は、計画実施にあたり非常に価値あるものとして今後の推進の参考にさせていただきます。計画案自体の修正は行いませんが、いただいたご意見を重く受け止め、計画に沿った形で地域振興や社会課題の解決に向けて努力してまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
3	93.94	第3編 後期基本計画 第4章 個別施策 5-2 生活環境の整備充実	1.<こんな事業を実施しています> ・ 既存住宅省エネルギー改修工事等補助事業 ・ 戸建て住宅断熱改修補助事業 ・ 宇陀市既存木造住宅耐震・省エネ改修補助事業 <こんな計画が関連しています> ・ 地球温暖化対策実行計画 ・ 宇陀市過疎地域持続的発展計画 上記に対する意見 条例を改正して、宇陀市として補助金を出して	1. 「省エネ改修に関する補助金」について 宇陀市では、既に既存住宅の省エネ改修について要綱を制定し、補助金を交付しております。例えば、既存住宅省エネルギー改修工事等補助事業を通じて、環境負荷を低減する取り組みに対する支援を行っています。これらの取り組みを通じ、省エネルギーや地球温暖化対策推進に寄与しています。現在策定中の後期基本計画においても、これらの施策を着実に実施していくことで、いただいたご意見にも応える形となるよう努力してまいります。なお、事業実施の項目に記載しています戸建て住宅断熱改修補助事業につきましては、表記に誤りがありましたので、削除いたします。
	100 ~ 102	6-2 健全な行政運営の推進	2. 宇陀市内のすべての建築物・民家を建てる場合の屋根に関して、夫々の屋根はすべて太陽光パネルとしてその建物の電力を全て賄うこと。 既存の屋根を改修、ふきかえる場合は太陽光パネルにすること。 そのメリットとしては、宇陀市は太陽が充分当たる地域であるために電力を豊富に使える産業が考えられることと、停電の被害がなくなる(送電線が、不要の為に、他の地域の電柱が倒れて、送電線が切れても、宇陀市に被害が及ぶ事は無い)地球温暖化で大きな被害が今後益々多くなっていく未来を見据えて、夫々の建物の屋根が自家発電していることであり、電力の地産地消を全国に先駆けて示すことになる。即ち、宇陀市全体が発電所になるようなもの。	2. 「建築物や民家を建設または既存住宅の屋根を改修する場合は、すべての屋根を太陽光パネル化し、自家発電を進めること」について ご提案の太陽光パネル設置の推進により、地域における電力の地産地消や環境負荷の軽減が促進されるというご意見は、地球温暖化対策に照らし合わせて非常に意義深いものと認識しております。ただし、住宅への太陽光パネル設置を義務化するためには、現行条例との整合性や住民の経済的な負担、都市計画との調和等、多方面で慎重な議論が必要です。当市では現在、環境負荷低減につながる各種補助金制度を設けており、太陽光パネル設置を含む持続可能なエネルギーの活用に関する支援を行っていますので、今後もそれらの施策を継続してまいります。
	72~78	3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成 3-3 基幹産業である農林業の再生活性化 3-4 商工業の再生活性化	3. 少子化で廃校になっている校舎や他に閉じている市の建物を改築して、コンピューターで完全制御して水耕栽培(品質・量等)にして、大規模な近代的な野菜工場を作る。 校庭は大型車も入る面積があるので、物品の運送にもそのまま使える駐車場となり、栽培・梱包・出荷を全部宇陀市営とすることで雇用も創出出来る。 元々学校があった場所故に、豊かな美しい自然環境を壊すものではない。 幾つもの野菜工場の建物毎に1つの野菜を作り、例えば「1号 宇陀レタス館」「2号 宇陀トマト館」と命名して、年中同じものを作り、量・品質(気象条件や病虫害、獣害が無い)共に管理して「宇陀ブランド野菜」として全国に出荷する。 以上を大規模にすれば、10年20年後には定住者も移住者も増えて、宇陀市と市民の幸せの為に経済の礎となる。	3. 「廃校舎や閉じている市の建物を利用した水耕栽培の実施について」について 廃校舎等を利用した大規模な近代的野菜工場の設置は、雇用創出や地域活性化に繋がる良いアイデアであり、宇陀市の持続的な発展に寄与する可能性を感じます。一方で、ご提案のような事業を実現するためには、施設改修費や設備購入費、運営費などを賄う財源の確保、その施設における事業計画の詳細設定(規模感、ターゲット市場、採算性等)、民間との連携のあり方の検討が重要となります。現在、宇陀市では「過疎地域持続的発展計画」を含む各種計画に基づいて事業を実施しており、それらの計画及びファシリティマネジメントの推進方針に基づき、廃校施設の利活用や雇用創出を進めています。いただいたご意見を参考にしつつ、計画を着実に進めることで、地域活性化に繋がる取り組みを推進してまいります。 ご提案いただいた内容は、宇陀市の環境改善や持続可能な地域発展に向けた重要な視点を含んでおり、大変参考となるものです。現在策定中の後期基本計画では、既存の施策を着実に実施することを最優先としておりますが、いただいたご意見は今後の施策推進の際の検討材料として、参考にさせていただきます。今後とも市民の方々や連携し、より良い宇陀市の企画運営を目指してまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
4	34～39	第3編 後期基本計画 第1章 まちづくりの成長戦略 ③後期基本計画における宇陀市の成長戦略	1. 基本計画(案)全体について: ほぼいずれの施策も重要だと考えるが、あまりに総花的で、計画期間中に宇陀市がどちらの方向に向かい、どのような地域になっていきたいかが明確ではないと感じます。これらの施策のうち、重点は何なのかを明確に打ち出すべきと考えます。	1. 本計画では、「第3編 後期基本計画(2026～2029)」の「第1章 まちづくりの成長戦略」において宇陀市の未来を見据えた方向性を示し、「宇陀でくらす」「宇陀ではたらく」「宇陀とかかわる」「宇陀ですすめる」「宇陀とつながる」の5本の柱を軸として具体的な施策を設定しております。それらは、計画期間中に重点的に取り組むべき内容として明示しており、地域が目指す姿の実現に向けて優先的に進めてまいります。いただいたご意見を鑑みながら、計画内容に基づき、着実に実行に移してまいります。
	52	第3編 後期基本計画 第4章 個別施策 1-2 みんなの幸せを支える福祉環境づくり	2. 施策の方向性1-2「みんなの幸せを支える福祉環境づくり」の施策2 (意見) 施策の方向性1-2全体を通して追求される「健康に暮らす」ことの最終的な目的は、幸福な家庭生活、社会生活が営めること。この項を通してさまざまな取り組みが提示されている医療・保健体制の整備は大切であり、身体面の健康促進への取り組みは評価するが、地域全体でお互いに支え合う環境づくりが何より大切だろう。施策2で示されている「地域福祉」が作文で終わることなく地域社会全体の共通理解で進んでいくよう実質化を望みます。そのための自治会、地区協議会、市の各レベルでの協議体の設置などを後押しすべきだと考えます。	2. 計画52ページの施策2「つながりを生かした支え合いの地域福祉を推進します」では、地域全体でお互いに支え合う環境を実現すべく、関係団体や地域住民との連携を強化しながら、地域福祉の仕組みづくりに取り組むことを重要な柱として掲げています。ご指摘の点につきましては、意見内容に深く共感するとともに、本計画を着実に推進することで地域共通の理解を深め、実効性のある取り組みへとつなげてまいります。これからも地域全体で支え合える仕組みづくりを目指して努力してまいります。
	61	2-1 みんなが住み良いまちづくりの実現	3. 施策の方向性2-1「みんなが住み良いまちづくりの実現」の施策1 (意見) 施策1の本文「本市の魅力である「緑が多く自然が豊かな」住環境の維持に向けた、自然環境に配慮したまちづくりの推進」について。まずは、宇陀市の「自然」は原生自然ではなく二次的な自然であることが理解されるべき。それは、長く農林業を継続してきた地域の力で守り育ててきた景観である。したがって本文冒頭は「本市の魅力は、里地里山の身近な自然が豊富であることであり、そうした自然と連続性のある住環境の維持・形成に向けた」としてはどうだろう。そのうえで、そうした自然環境、住環境は、住民にとって住みよだけでなく、地域外の人たちから見た宇陀市の魅力となる。施策の方向性2-2の移住・定住の促進強化や、3-5の観光戦略の観点から見ても非常に重要。ならば、目指す方向は「自然環境に配慮」するだけではなく「自然環境を維持し、また創出する」ことだと考える。	3. 本市の自然環境については、長い歴史の中で農林業によって守り育てられてきた「里地里山」の景観がその特色であり、住環境の維持に加え、こうした自然と調和する魅力を伝えることは、移住定住の促進や観光振興にもつながる重要な視点であると認識しています。本計画では「緑が多く自然が豊かな住環境の維持」に向けた具体的な取り組みを着実に進めることで、地域の皆さまとともに持続可能な住環境の形成を目指してまいります。今後も本市の魅力となる自然環境を守り育む活動に取り組んでまいります。
	63	2-2移住・定住の促進強化	4. 施策の方向性2-2 移住・定住の促進強化の施策2 (意見) 施策2「移住・定住者が安心して暮らせる支援と空き家の利活用を推進します」に挙げられたいずれの項目も重要であり、継続・充実をお願いしたい。そのうえで、移住者が地域に溶け込むためのサポートが不足していると感じる。とくに、既存の地域住民との交流が、住民と移住者にまかせている現状を、市、地区協議会等が移住者を紹介、交流の後押しをする取り組みが求められていると思う。	4. 地域住民との交流促進に関して、自主的な取り組みに委ねる部分がございますが、自治会やまちづくり協議会、移住・関係人口創出に取り組んでいる団体との連携など、関係者と協働しながら、移住者が安心して地域社会に定着できる取り組みを進めていきます。今後も計画を着実に実施することで、いただいたご意見にお応えしてまいります。
	68	2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現	5. 施策の方向性2-4 災害に備えた安全・安心な暮らしの実現の施策2 (意見) 項目に「自治会、自主防災組織、まちづくり協議会への防災に関する啓蒙・啓発」が挙げられています。とても大切な施策です。高齢者の独居世帯や高齢者のみの世帯がほとんどです。災害時にこれらのみなさんが、避難を含めて安全を確保できるよう、ふだんから地域の力を高める必要があります。ここで掲げられている施策の実質化をしていただきたい。	5. 「自治会、自主防災組織、まちづくり協議会への防災に関する啓蒙・啓発」に関する施策は、地域防災力の向上において重要な取り組みです。特に、高齢者独居世帯や高齢者のみの世帯が災害時に安全を確保できるよう、ふだんから地域の力を高めることが必要であるのご意見には深く共感します。宇陀市では、既に自治会、自主防災組織、まちづくり協議会等が実施する防災訓練や講話への支援など、必要な支援を行っており、計画の内容を着実に実施することで、防災力向上のための活動を推進してまいります。また、防災意識の啓発や地域内連携の強化を含めた取組を充実させ、地域にとって実効性のある施策を進めてまいります。

71	3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用	6. 施策の方向性3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用の施策1 (意見)施策1「歴史と文化を活かした地域の魅力づくりを推進します」について。松山地区の重伝建地区の整備は進んでいて良いと感じています。しかしその魅力が地域外の人に知られていない。せめて、国道166号を吉野方面に行き交う人が、「そんなところがあるのか!」と立ち寄ってみるきっかけとなる仕掛けをしっかりとしてほしい。道の駅がその役割を担うのだろうが、松山地区のビジターセンターとしての機能を果たしているとは思えない。整備の方向を確立して着実に実施してほしい。	6. 松山地区の重伝建地区としての整備が進んでいる一方で、地域外の方にその魅力が十分に知られていないという課題について、重要なお指摘と認識しております。宇陀市では、既に補助金交付要綱を整備し、松山地区の整備推進に向けた支援を行っています。道の駅の活用や情報発信の強化などの課題については、周辺施設や関係機関と連携を深め、着実に取り組みを進めることで、来訪者の増加に繋がるよう努めます。今後も松山地区の歴史や文化を活かした価値ある地域づくりを進めてまいります。
75	3-3 基幹産業である農林業の再生活性化	7. 施策の方向性3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化の施策1 (意見)項目に「農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換の促進」とある。農業には「収益」だけでない魅力がある。小規模自作農も大切に、彼らが協調して地域の農業と自然環境を守る力となる施策もしっかり進めるべき。	7. 「農業には収益だけでなく魅力がある」とのお指摘について、私たちもその意義を十分に認識しております。宇陀市では既に補助金交付要綱を整備し、農業の担い手支援を行っています。農地の集約やスマート農業の推進による次世代農業の育成を進めるとともに、地域全体で農業と自然環境を守る基盤をさらに強化していきけるよう取り組んでいきます。これからも農業の多様な価値を生かし、地域の農業振興につなげてまいります。
78	3-4商工業の再生活性化	8. 施策の方向性3-4 商工業の再生・活性化の施策1 (意見)施策1「駅前を人と人がつながる交流拠点として活性化を図ります」とあるので、榛原駅に関して。近鉄大阪線「榛原駅」は「宇陀市駅」と改称するよう近鉄と協議していただきたい。そのための市民的な議論を興してほしい。これは、宇陀市の知名度がとても低く、近畿地方にあっても知らない人が多数(その認識は79ページにも記されている)で、そのことが方向性3-1や方向性2-2などを促進するうえで障害となっていると考えるから。ぜひ実現の方向性を書き込んでほしい。	8. 「榛原駅」に関するご提案につきましては、宇陀市の知名度向上の観点から重要なお指摘と認識いたします。駅前の活用については、本計画に基づきにぎわいと交流の拠点づくりを着実に進めるとともに、知名度向上や地域の魅力発信にも取り組みます。駅名については、これまでも同様のご提案に基づき調査した結果、非常に多額の経費を要することを確認したところでございます。このことも勘案しながら、引き続き関係機関との連携や市民の皆さまとの議論を含め、適切に検討していくことが課題であると考えております。いただきましたご意見を参考に、今後も地域活性化に向けた取り組みを推進してまいります。
87	4-3多様な学びの場の整備・充実	9. 施策の方向性4-3 多様な学びの場の整備・充実の施策1(図書館に関して) (意見)施策1の項目に図書館に関するものが掲げられている。利用促進やアクセスに関して記述があるが、資料の充実を掲げるべき。宇陀市立図書館の蔵書は非常に貧弱。とくに新刊、教養書が弱い。隣接する名張市立図書館は非常に充実しており、羨望。市の規模は少し違うが、それ以上に選書の力が違うと感じる。ぜひ充実を掲げて実施すべき。	9. 図書館の蔵書の充実に関するご指摘は、利用者の学びや教養の向上を図るうえで重要な課題と認識しております。本計画では、図書館の利用促進やサービス充実に向けた取り組みを進めていく中で、市民のニーズに応じた環境の整備を目指してまいります。有益なお提案を受け止め、地域の学びの場のさらなる充実を図るべく、計画の実行を通じて適切に対応してまいります。
91~96	目指すまちの姿5 自然豊かなまち	10. 「目指すまちの姿5 自然豊かなまち」 (意見)ここで言及されている「自然」は、地球規模の自然であったり、また希少な生物や群落に関すること、そして生活環境、公園であって、宇陀市のほとんどを覆っている二次的自然である農地、森林を視野に入れるべきだと思います。	10. 「自然豊かなまち」の実現に向けた取り組みについて、農地や森林といった二次的自然を視野に入れるべきのご指摘は重要であると認識しております。本計画では、自然環境の保全と開発との調和を図りながら、多様な自然の価値を尊重し、未来へつなぐ環境づくりに取り組んでまいります。いただいたご意見を踏まえながら、計画の推進を通じて自然豊かなまちづくりを進めていく所存です。

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
5	48.49	第3編 後期基本計画 第4章 個別施策 1-1 「健幸都市ウェルネスシティ宇陀市」の実現	<p>科学的根拠に基づく感染症対策の徹底と、ふるさと納税の適切な活用に関する要望</p> <p>1. 科学的根拠(エビデンス)に基づいた感染症対策の実施</p> <p>昨今、感染症やワクチンに関して、科学的な知見を軽視するような主張も見受けられますが、宇陀市においては「健幸都市」の名の通り、医学的・科学的根拠に基づいた一貫性のある対策を強く求めます。特に、コロナ後遺症(ブレインフォグ等)の深刻さを踏まえ、誤った情報に惑わされることなく、市民の生命と健康を守るための正しい情報発信と、ワクチン接種を希望する市民への経済的・物理的支援(補助金制度の確立)を継続・拡充してください。</p> <p>2. ふるさと納税「感染症対策事業」の具体的かつ有効な活用</p> <p>私は昨年、本市のふるさと納税において「感染症の対策に関する事業」を指定して寄付を行いました。この寄付金は、以下のような実効性のある対策に優先的に配分してください。</p> <p>小児医療体制の改善：市立病院等での10歳未満へのワクチン接種体制の確保(市外へ行かざるを得ない現状の解消)。</p> <p>教育現場の衛生管理：予算不足を理由としたペーパータオルの撤去を即刻取りやめ、手指消毒液の置と併せて、学校・公共施設での衛生環境を再整備すること。</p> <p>3. 公正な市政運営の堅持</p> <p>特定の政治的・思想的な動きに左右されることなく、公衆衛生の専門家の意見を尊重し、すべての市民が安心して医療・教育を受けられる体制を維持してください。目先の予算削減ではなく、感染症蔓延による社会的損失を防ぐための「投資」としての感染症対策を、後期基本計画に明確に位置づけることを要望します。</p>	<p>市の回答(案)</p> <p>1. 科学的根拠に基づいた感染症対策の実施について</p> <p>宇陀市では第2次宇陀市総合計画に基づき、健幸都市の実現を目指して様々な政策を展開しております。ご指摘の通り、市民の生命と健康を守るためには、医学的・科学的根拠に基づく対策が重要です。本市ではこれまで、新型コロナウイルス感染症対策を含む健康維持施策について、専門家の助言を仰ぎながら実施してまいりました。後期基本計画におきましても、市民へ正しい情報発信を行うとともに、未知なる感染症危機に備えた行動計画の策定および準備体制の強化整備を着実に進めていく所存です。いただいたご提案内容は、本計画に基づく施策の実施を通じて反映してまいります。</p> <p>2. ふるさと納税の活用について</p> <p>ふるさと納税を通じた事業指定寄付につきましては、地域の発展や市民福祉の向上に向けて貴重な財源であり、ご指摘の内容も踏まえながら、その適切な活用に努めてまいります。具体的な配分提案につきましては、既存の医療体制や教育環境の整備に関する取り組みの中で考慮し、地域課題への対応や感染症対策事業の充実を念頭に、関係者と意見交換を行いながら進めてまいります。</p> <p>また現在、宇陀市立病院小児科外来では小児の定期予防接種を実施しております。小児医療体制の維持や教育現場の衛生管理といった課題についても、状況や優先順位を見極めながら対応を図っております。</p> <p>3. 公正な市政運営の堅持について</p> <p>宇陀市では、健幸都市を目指すうえで最も重要な柱の一つとして、公正かつ透明性の高い市政運営を心がけております。感染症対策についても、公衆衛生の専門家の意見を尊重しながら進めており、市民サービスをより充実させる形で後期基本計画を着実に推進いたします。ご提案にある「投資としての感染症対策」の重要性を理解し、未知なる感染症危機に備えた行動計画(宇陀市新型インフルエンザ等対策行動計画)の改定に取り組んでいるところです。市民の安全・安心の確保、及び医療・教育環境の整備にも注力してまいります。</p> <p>いただいたコメントは、今後の計画実行においてしっかりと反映させ、宇陀市の持続可能な発展と市民の皆様の福祉向上に努めてまいります。今後とも市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>

番号	頁	項目等	ご意見	市の回答(案)
6	79.80 77.78	第3編 後期基本計画 第4章 個別施策 3-5 観光戦略の推進 3-4 商工業の再生・活性化	<p>1. 宇陀市の観光資源は点在しています。しかも『核』となるものが限られています。室生寺、又兵衛桜ぐらい？何も無い様に思えますが自然が有ります。宇陀市は平地が少なく山ばかり。この山が大きな資産だと考えます。そこで提案です。</p> <p>2-1. 『伊勢本街道・宇陀路』をうたい上げるのです。 ●春は『桜』 宇陀川添いの桜並木を市役所前から松山地区まで(約6km)つなぎ切るのは。現在大宇陀平尾までの並木を松山地区まで(約2km)残り3分の1を残すだけです。駅前近くから桜並木が6km余り続き歴史の有る松山地区とつながっているのは豪快です。</p> <p>2-2. ●秋は『かえで』 『かえでの里・ひらら』を『かえでの植物園』にしておくのは勿体ない。 宇陀川を中心として左右の山々に多種多様なかえでを植え秋の紅葉の名所にするのです。『秋の宇陀路』を作る</p> <p>2-3. ●通年この施設、景観を求めてわざわざ宇陀路に来る 大宇陀平尾から額井岳を見る景色は絶景です。 この辺りに駐車場・レストラン・菓子工房・地酒・クラフトビールなどの施設を集約し観光客だけでなく地元の住人も普段利用できるようにする。</p> <p>3. ※宇陀市全体をランドスケープデザインし山々に彩りを添え年中景色を楽しめる様にすれば 息の長い観光資を作る事が出来ると確信します。 如何に地元でお金が生み出せるか？ 商業が活発になる仕掛け作りが必要かとおもいます。</p>	<p>宇陀市の観光資源や活性化の方法について貴重なご提案を賜り、心より感謝申し上げます。いただきました内容について、以下の通り回答させていただきます。</p> <p>1. 宇陀市の観光資源についてのご指摘 「宇陀市の観光資源には限られた核となるものしかなく、自然の資源や山々を観光資源として活用するべき」とのご提案について、私どもも宇陀市の自然や景観は大変魅力的な資源と認識しており、これを生かした観光事業の充実に努めてまいります。なお、今回の総合計画案では観光資源を着実に活用し、市全体の観光振興を図るための取り組みを盛り込んでおります。</p> <p>2-1. 『伊勢本街道・宇陀路』の推進について(春の『桜』) ご提案いただいた「宇陀川の桜並木をつなぐ」構想について、桜並木を松山地区まで繋げることで、宇陀市全体の魅力が向上し、新しい観光スポットとなる可能性があるものと考えております。しかし、整備には植樹や年間を通じた維持管理も必要となるため、ライトアップ等による集客等も検討していきたいと考えております。</p> <p>2-2. 『伊勢本街道・宇陀路』の推進について(秋の『かえで』) 紅葉の名所化は、宇陀市独自の「秋の宇陀路」という季節的な観光資源を創出する非常に魅力的なアイデアだと考えております。ご提案いただいた宇陀川周辺を活かした秋の自然景観づくりについては、地域住民や関係者の意見を伺いながら、可能性を探ってまいりたいと考えております。</p> <p>2-3. 『伊勢本街道・宇陀路』の推進について(魅力的な観光施設の整備) まちづくりや観光振興の観点から重要な視点であると考えます。計画案でも市内経済の振興や地域住民の生活環境の向上を図るべく取り組みを進めることを目指しております。いただいたご意見はその方向性に合致しており、総合計画を着実に遂行することで、商業活性化につながる可能性を高めていきたいと考えております。</p> <p>3. 宇陀市全体のランドスケープデザインについて 自然や景観を最大限に活用する取り組みは非常に有益であり、計画実施を通じてこのような考え方を取り入れながら地域活性化に努めてまいります。</p>